
謎の子どこの子？...(ヘタリアだよ！)

枢連

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

謎の子どこの子?...（ヘタリアだよ！）

【Nコード】

N4725Z

【作者名】

枢連

【あらすじ】

につさんは会議とかなんとかでくたくたで家に帰ったよ！
そしたら……

何かいた。(前書き)

本文にかいちゃたけどオリさんでるよ！
ぐだつてるよ！
なにがなんだか！
そんなかんじだ！

何かいた。

注意！オリきやらがいますってかそいつ中心。

オリの名前が枢亜^{スウア}150sm（）↑

なんか枢^{スウ}つてのきにいつてるんだよね我ww
えーと国呼びですすみません。

アジアが良くでるだろうな〜ww

にっさん語りからはいるよ！

初心者だから駄文乙状態！！

おk？

おkなら進む……のか？まあいいか。（）↑

えーとこんにちは日本です。

今日は会議やらいろいろあつて疲れています。

そのせいなのでしょうが…

私の家の縁側に見慣れないひとが…

これはどうしたらいいのでしょうか…

声をかけるべきでしょうか…

って言うか…なんで私の家にいるんでしょうか…；

とりあえず動く気配すら無いのですが…話しかけていいのでしょうか…

………考えてもしかたがありませんね！話しかけてみましょう…；

「………あの………どなたでしょうか………」

と私が相手の隣に行き話しかけたとたん…

「うわあああ！？な…なんだよ！いきなり後ろから現れるなよ！
畜生目！

誰かしらんがこえーだろコノヤロー！

ただでさえここがどこかわからずポケーとしてるとききやがって！
…すごい驚きようです。

所々にロマーノさんに似た口調がありましたかはっきりとした日本語でした。

「うわぁーなんだよー畜生ー誰だよー」

まだ愚痴っています。

とりあえず情報をえないと…

「……おーい聞いてるのかー」

「あつ…すみません…考え事してて…っでなんでしょうか？」

「……なんでしょうかじゃねえよ畜生…お前は誰だといったんだ。」

「あ…私は日本と申します」

「………日か………我は枢亜。」

名前を略されたきがしますがまあいいでしょう…；

「えーと…枢亜…さん？」

「ん？」

「あの…その…どっからきたんですか？」

……… 単刀直入すぎましたかな…；

「………どこ…ねえ………」

………

………

………「」

「………「」

「………「」

「………「」

「答えられないのでしたら別にいいですよ…。」

とにかく沈黙はやめてほしいです；

「言えなくナイ。しかしなあ………なんつつーか

空間が違う的な？」

「空………間？」

「そ。空間」

「そうですか……」

「ん。」

「ところで……」

「んあ？」

「帽子はとらないのですか……？」

「え……」

ずっとときになつてたのですがこのこ（多分女の子）ずっと深く帽子をかぶっていて…

邪魔にみえてしまうのです…；

「前がみにくそうですし……」

「あ……いや……その……」

……な……なんとなくだよ！」

「……」

ガッツポーズ的なものたれましても……

「でも……視力悪くなりますよ……？」

「元から悪いから問題ない。」

「大ありですよ……；もつとわるくなりますよ……？」

「大丈夫。問題ない。とにかく帽子はとるな畜生！」

「……取るなといわれたらとりたくなりますね」

「に？！く……くるな！くるなああ！！！」

「逃げてもむだですよ！」

案外楽に捕まえられました。

このこ足はそこそ早いですがよく物にぶつかるようです。

はは。障子が犠牲になりましたがきにしないきにしない……

「でははっさせてもらいます……」

「やめろお……っ！つな！」

……えーと……

夢でしょうか？私のめのまえにはしんじがたいものが……

その……耳が………なんと言うか……

獣耳でした。

何かいた。（後書き）

えーーーーーと

ナニコレww

まあいいか。（）

アジアかわいいよアジア（）

晩上好。どうもNL主食の枢連ですはい。

次回あたり連合ーとかそのへん会議のみなさんがでるよ！んでもってアジアでるよ！（）

ってか続くのかな…わかんねえww

まあいいか。（）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4725z/>

謎の子どもの子?...(ヘタリアだよ!)

2011年12月15日23時46分発行